

第3回 講話と写経 テーマ「混迷の時代を生きる」

日時：10月6日(月)午後1時30分から3時30分

場所：鶴瀬公民館いきいき活動室

講師：横山亮英氏(来迎寺住職)

受講者：18人



横山住職の講話は30期の市民大学から毎年企画され、今年18回を数える名物企画となっています。

今年は、初めての受講者も多く、講師の語りに引き込まれ質問も多数ありました。

講話の一部を紹介します。

「追孝の誠」の話から始まりました。「死んだ親などを供養して尽くすこと。」という意味である。我々は、人の命の長さや自分の命の長

さは誰も分からない。ですから、両親の葬式を子どもが出せるかどうか分からない。実際、お寺でも9割は順延(歳の順に亡くなる)であるが、1割は逆縁(親が子どもの葬式をあげる)となっている。

その後、「養生訓」(貝原益軒)を紹介されました。江戸時代の儒学者・貝原益軒によって書かれた健康と長寿に関する指南書で、現代でも多くの人に愛読されている。

「老後は、1日を10日とし、10日を百日とし、1か月を1年とし、喜樂してあだに日を暮らすべからず」この言葉は、人生は自分が思うほど長くない、1日1日を喜び楽しむことが大切であると話されました。



現代は、混迷の時代であるが、いつでも混迷の自分がいます。いつの時代でも、人生の終盤になると、言葉や文化が違ってても、どこにいてもどんな境遇であっても、老いや死に直面する。

90歳の人気ユーチューバーの多良美智子さんが「欲張らなければ、人生は楽しいです」と言っておられた。

後半は、延命十句観音経(えんめいじっくかんのんぎょう)を写経して終わりました。

富士見市民大学サロン講座 ③アンケート結果

受講者 16 人 (出席率 64%) + 理事 2 計 18 人

アンケート回収 16 人 100%

1. 受講されていかがでしたでしょうか。ご意見をお聞かせください。

- | | | | |
|------------|-----------|------|-------|
| ① 講座内容について | ・ 満足 (16) | ・ 普通 | ・ 不満足 |
| ② 講師について | ・ 満足 (16) | ・ 普通 | ・ 不満足 |

2. 今回の講座について、ご不満、感想、率直なご意見等をお聞かせください。

- ・ 毎年、講話と写経を楽しみにしています。いつまでも続きますように。
- ・ 人生後半の指針をいただき良かったです。
- ・ 高齢になって、これからの生き方を改めて考えさせられました。自分にできること、他の人に分け楽しく過ごしたい。
- ・ 次回も横山住職さんのお話を伺いたいと思います。これからの人生大切に過ごしたいと思います。(喜樂して)
- ・ 今日のお話は、私が母の亡くなった年齢に間もなく近づいたため大変参考になりました。私も母の教えを守りながら一日一日を楽しもうと思っています。
- ・ とても分かりやすくお話しされて良かったと思いました。老少不定、一日一日を大切に生きたいと思います。
- ・ 年齢を重ねて今の自分を日々思っている事をお話ししてくださり、落ち着く気持ちになりそうです。ありがとうございます。
- ・ 初めての参加でした。このようなお話を聴く機会がなかったので、今日は心が洗われて行くようで、とても穏やかな気持ちになれました。是非、また聞きたいです。
- ・ 良いお話を拝聴出来ました。ありがとうございました。

3. 今後の講座について取り上げてほしいテーマ、講師名などあればお聞かせください。

- ・ 来年も同じ講座を希望します。
- ・ 講話と写経はずっと続けてほしい。
- ・ また、このようなお話を聞かせてほしいです。
- ・ パソコン、スマホ

4. あなたの属性についてお尋ねします。

- | | | | |
|--------|--------------|----------|-------|
| ① 性別 | ・ 女性 (12) | ・ 男性 (4) | ・ その他 |
| ② 居住地域 | ・ 富士見市内 (16) | ・ 市外 | |

報告 金田光正